

りつめい

題字・末川 博名誉総長

立命館大学校友会報

R Alumni

立命館大学校友会

No. 262 2015 OCTOBER

[巻頭特集]

農 × 立命館

日本の地方がおもしろい!

R Alumni

りつめい No.262 / 2015年10月号

発行所 / 立命館大学校友会 / 年4回発行

発行人 / 村上健治

編集人 / 加藤美佐子

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1

Tel. 075 (813) 8216 Fax. 075 (813) 8217

URL : <http://alumni.ritsumeijp>

E-mail : alumni@st.ritsumeijp

輝くひと

女子鉄アナウンサー

久野知美さん ('06文)



“女子鉄”アナウンサー道

「あ、800形の車両! シブいなあ」。サラリーマンが行き交う京急電鉄品川駅。“鉄道オタク”で知られるアナウンサーの久野知美さんが、大きな目を輝かせた。その可憐な容姿からは、実はとてもマニアックな趣味をお持ちだとは想像できない。そんなギャップと、親しみやすく魅力を伝える技術で、メディアや全国の鉄道関連イベントに引っ張りだこ。今年はイベントだけでも100本を超えるという人気ぶりだ。久野さんのような鉄道好きの女性は、「鉄子」と呼ばれることも多いが、あえて「女子鉄」と名乗っている。「鉄子」と言うと、一人で趣味を極めていそうでなんだか近寄りたがたい感じがして。私は鉄道に興味のない一般の人にも魅力を伝えたいので、よりやわらかい言葉を選びました。満員の通勤電車に乗るサラリーマンの方にも、何かその電車にまつわるエピソードを知ってもらうことで、その人の毎日を少しでも楽しくできたらいいなと思っています。

こだわりの言葉はほかにもある。鉄道ファンの楽しみ方は、電車に乗ることを楽しむ“乗り鉄”、撮影をメインに活動にする“撮り鉄”と様々だが、久野さんの場合、「私は“鉄道員鉄”です!」と、映画に例えてにっこり。「鉄道会社で働く方々の、プロのお仕事ぶりが好きなんです。鉄道会社の方々とお会いするうちに、普段当たり前だと思っていた安全や定時運行が、多くの鉄道員さんに支えられていることを実感するようになりました」。そんな目線で、鉄道の魅力を伝えている。

大学生の頃から一人で海外の国々を旅し、鉄道の魅力にも触れた。その頃は趣味の域だった。言葉で伝える仕事に興味を持っていたことから、卒業後はアナウンサーを目指してテレビ局を受けたが最終試験で敗退が続く。一浪して再チャレンジしたものの、夢は叶えられなかった。それでも諦めず、関西でフリーアナウンサーとして出発。「実績がないから、最初はなかなか仕事を掴めなくて。アルバイトをしながらオーディションの毎日でした」。仕事のいろはを学んだ後、活躍の場を広げようと上京。次第に鉄道好きが知られるようになり、キャスターとして鉄道番組のレギュラーを持つなど、鉄道分野では欠かせない存在になった。昨年は大手旅行会社から声がかかり、ヨーロッパの鉄道旅をつづるライターとしてもデビュー。「ユーロスターに乗ってヨーロッパ各国をまわりましたが、通訳もカメラマンも付けず、私一人で取材、撮影したので本当に大変でしたね。でもこれで海外の引き出しが増えたかな」。活躍の場は海外へ、アナウンサーという枠にも収まらなくなってきた。自分の道を切り拓いていますね、と言うと「雪をかき分けて進む、ラッセル車みたいでしょ」と笑った。

(写真・宅間國弘 文・斎藤万里絵)



ホリプロ アナウンス室所属

く の と も み
久野知美さん ('06文)

輝くひと
94

レギュラー出演

TV テレビ朝日「スーパー」チャンネル」リポーター
BSフジ「ワッチミー! TV×TV」
チバテレビ「ホリプレゼンツ 求人任三郎がいく!」

RADIO FM NACK5
「スギテツのGRAND NACK RAILROAD」
アシスタント

EVENT 10月10日(土) 鉄道フェスティバル2015(日比谷公園)
10月18日(日) 駅祭テイング2015 in 天王寺公園

MORE 国内外の鉄道フォトライターとしても活躍中

立命館大学校友会報

りつめい OCTOBER 2015
No.262

03 巻頭特集

農×立命館 日本の地方がおもしろい!

01 輝くひと

久野知美さん

08 RITSUMEI INTERVIEW

東寺文化財保護課長

新見康子さん

12 3.11 復興への願い

報道写真家 渋谷敦志さん

13 復興支援金芳名録

14 立命館の研究者たち

「小さな変化が家族にもたらす物語」

団 士郎教授

16 校友会ネットワーク

校友会行事報告

今後の予定

20 「オール立命館校友会大会2015 in OIC」のご案内

22 校友会未来人財育成基金

未来を切り拓く母校の後輩たち



24 学生イベント&スポーツ

26 キャンパストピックス

29 +Rな人

田中志穂さん(国関3)

30 INFORMATION

編集室から

農 × 立命館

日本の地方がおもしろい!

“農業は稼げない” “田舎には仕事がない”

— 今、この現状に挑む校友たちが全国から注目されています。

地方の農業を盛り上げ、新たな価値を地方でつくる。

北海道と秋田県で、2人の校友が思い描く地方の未来とは？



農家民宿
えづら
ファーム

農家民宿えづらファーム代表
江面陽子さん

Hokkaido



シェアビレッジ
南秋田郡
五城目町

トラ男
北秋田市

Tohoku
Akita

kedama inc. 代表取締役社長
シェアビレッジ 村長
武田昌大さん

Hokkaido

北の大地で家族と暮らし、 家族で農業

結婚式を挙げた翌日に、東京から北海道へ移住。
6年を過ぎた今、江面陽子さん一家はオホーツク海に程近い紋別郡遠軽町で、
東京ドーム約9個分にあたる広大な農園を営んでいる。
全くの未経験から、夢だった家族での就農を実現した江面さんの暮らしを見せてもらった。



北海道旭川市から北
東へ、紋別郡遠軽町ま
では長距離バスに乗る
こと約1時間半。一番
近くのコンビニエンス



ストアまでは車で20分、という場所にえづら
ファームはある。到着すると、江面さんと長
女の野乃花ちゃんが出迎え、畑へ案内して
くれた。生産しているのは「白滝じゃが」だ。
標高約450メートルの土地が生む寒暖差で
甘みを増し、その美味しさが評判を呼んで
農園の看板商品になっている。この他、園
内では小麦やスイートコーン、甜菜などの
農産物を生産している。畑を後にし、昼食
のために菜園へ野菜を採りに行くことに。こ
こで生まれ育った野乃花ちゃん、3歳にして
きちんと食べごろを見分けている。収穫した



「採ったよ!」スナップエンドウを収穫した野乃花ちゃん。



ばかりのみずみずしい夏野菜は、すぐに食
卓に並んだ。「四季の変化を感じながら生活
できるということが、この暮らしの一番の魅
力です。それに平日は私も農作業に出ます
が、仕事をしながら子育てできるので、娘
の成長を常に側で見られるのも幸せですね。」

未経験から大規模農家へ

国内では大規模農業に分類される
えづらファームだが、夫婦共に農家の

跡取りだったわけではない。江面さん
は京都で生まれ、農業とは無縁で育つた。しかし今の暮らしにつながったの
は、幼い頃から変わらず持ち続けた夢
だったと言う。「子どもの頃から、広々
とした場所で大きな家に住み、家族
で仲良く暮らしたいという夢がありまし
た」。大学卒業後は横浜の大手食品・
化粧品会社に就職。商品企画に携わる
中で農家と接することも多く、家族一緒
に働くことのできる農業に対し、憧れが
膨らんでいった。そんな時「故郷の北



農家民宿えづらファーム代表
えづらようこ
江面陽子さん（03 政策）

1980年京都府生まれ。立命館宇治
高校卒業後、立命館大学へ。2003
年ファンケル入社。2009年、夫の暁
さんと北海道へ移住。2012年えづ
らファームとして独立。



薪ストーブのあるリビング。住宅は自分たちの手で2年かけてリフォームした。

海道で農業がしたい」と言う暁さんと
出会ったことで、江面さんの人生が一
変。2人で就農を目指し、結婚式を挙
げたその足で北海道へ移り住んだ。「農
業は夫婦共に全くの未経験でしたが、
不安はありませんでした。だめならや
り直せばいいと思って」。思い切って飛
び込み、農業法人で1年間の研修を受
けた後、運良く後継者を探していた白
滝の農家と出会った。そこでさらに2年
間の研修を積んだ後、農地やトラクタ
ーなど一式を約6500万円で買い取っ
て独立。築35年6LDKの民家も手作業
でリフォームし、本格的に白滝に根を
下ろした。

地方ならではのビジネス

移住して7年目を迎えた今、江面さ
んが懸念するのは地域住民の高齢化だ。

えづらファームでは地域の人も働き手
として運営を支えているが、このまま
では働き手が減り、運営も成り立たな
くなってしまいう可能性がある。そこで考
えたのが「ボラバイト」。つまり、住み
込みで農作業を手伝ってくれる人を受
け入れることだった。「家の2階部分を
宿泊用に使っているのですが、私たちの
実際の暮らしを見せることで、まずは
田舎暮らしや農業の魅力を知ってもら



麦わらを糸でつないで作るヒンメリ。道内でのイベントや
雑貨屋で購入することができる。



えづらファーム

場所：北海道紋別郡遠軽町白滝
旭川空港から約90km(車で約1時間30分)
約42haの広大な農地でじゃがいもや小麦などを
生産。HPで販売される秋のスイートコーンや新じゃ
が、約半年間寝かせた春の越冬じゃがは全国にリ
ビーターの顧客がいる。
<http://www.ezurafarm.com/>

えたらと思っています。もちろん受け入
れの負担はありますが、都会に比べると
地方はビジネスチャンスや人と知り合
う機会が少ないので、私たちにとつ
ても貴重な交流の機会になっています。
すでに半年で50人以上が農場を訪
れたそうで、江面さんは自ら新しいビ
ジネスを考え出すという充実感を感じ
ている。さらに今年は、新たな挑戦も
始まった。麦わらで作るフィンランド
の伝統装飾「ヒンメリ」の製品化だ。
「麦畑の美しさをおすそ分けしたいと
思ひ、最初は個人的に制作していたの
ですが、今は地域の人と一緒に取り組
んでいます。これを地域の収入になる
ようにしたいですね。これからは自ら
のチャレンジで自分だけが満足する
のではなく、地域を元気にし、幸せ
になる人を増やしていきたい。それ
が、私たちがこの地にきた意味にな
ればと思っています。」

Akita

北秋田を“ワクワク感”で 変える男

「故郷なんて、嫌いでした」。一度は秋田を出た若者が、今はふるさとの活性化に奔走し、地元にとってなくてはならない存在に。「いかにおもしろく解決するか？」で地方に人を呼び込む武田昌大さんのエンターテインメント力に注目する。

今、米作りに情熱を注ぐ秋田県北秋田市の若手農家集団「トラ男」が、米の流通を変える風雲児として話題になっている。名前の由来は「トラクターに乗った男前」。購入者がウェブサイトで若手農家のこだわりなどを確認し、気に入った米を選ぶと、産地から直接米が送



られる仕組みになっている。このグループの発案者でとりまとめ役が、武田昌大さん（'08 情理）。「一般的な米はブレンドされ、流通業者を介して市場に出されます。でもそれでは誰が作ったのかわからないし、農家ごとに違うこだわりや思いも流通の過程で埋もれてしまう。そこで僕は、つくる人と食べる人を直接つなぐ仕組みを作りたいと思ったんです。だが



らトラ男では単一農家の純米を販売することで、食べる人に農家のこだわりを届け、逆に農家には食べた人の『美味しかった!』という声を届けています。

若手農家と消費者が、 農業の未来をつくる

今は故郷の北秋田市にも拠点を持ちながら、東京からも離れず首都圏のイベントで積極的に秋田の魅力を発信している武田さんだが、もともと地元に対する興味は薄かったと言う。「秋田には何もおもしろいものがないと思っていました。憧れていたのは、農業どころかゲーム業界でしたね」。高校卒業後は秋田を出て、立命館大学情報理工学部へ。社会人になると東京でゲームプランナーとして働きながら、夜は専門学校でデジタルコンテンツビジネスを学んだ。充実した毎日だったが、久しぶりに帰郷した24歳の時、地元の変化にショックを受けた。「商店街のシャッターは閉まり、子どもの声は聞こえない。もし明日このふるさがなくなったら、東京で笑っていただけるか？」と考えた時、何か行動を起こしたいという思いに駆られました。秋田の強みはやはり米、中でもブランド米「あきたこまち」は全国に名が知られている。そこで武田さんは、まずは米で秋田を元気にしようと考えた。それから、平日は東京で働き、週末になると秋田に帰って農家を訪ね歩く生活を3ヵ月続け、100人に聞き取り調査を行った。「調



「いかにおもしろく変わったことを考えられるか、関西のお笑い文化、ポケ・ツッコミを求められた大学時代に発想力がつきました(笑)」



kedama inc. 代表取締役社長
シェアビレッジ村長
武田昌大さん（'08 情理）

1985年秋田県北秋田市生まれ。2003年立命館大学へ進学。2007年大学卒業後、東京でゲームプランナーに。2010年「トラ男」プロデューサーに。2014年古民家活用プロジェクト・シェアビレッジを立ち上げる。現在は東京、北秋田の2つを拠点に生活している。



100年続く北秋田市阿仁地区の棚田。澄んだ空気と雪解け水で育った米は「トラ男」を介して全国へ届けられる。



かまどで米を炊き、郷土料理を囲むシェアビレッジの参加者。

査で知ったのは、「稼げない」という農家の現状です。米作りに情熱を注いでも、時給にすると179円にしかならない。さらに流通にも問題があった。こだわりの米なのに、農協で混ぜられて市場に出ると『おいしかった』という消費者の声は届きません。その声こそ農家のやりがいなのに。

今やらなければ、地方が抱える問題はさらに深刻化する。そう考えた武田さんは東京での仕事を辞め、すぐに起業。若手農家3人と「トラ男」を結成し、生産者の顔が見える流通づくりに取り組んだ。運営するウェブサイトでは米作りのこだわりを発信し、消費者とfacebookなどの交流サイトでコミュニケーションを深めたところ、初年度に準備した約300キロの米はすぐに完売した。さらに現地での田植えや稲刈りなどの農業体験ツアーを企画し、エンターテインメント性を加えたことで固定客が増加。5年目の今秋は、初年度の70倍以上となる20トンを用意する見込みだ。

年3000円で秋田を故郷に

武田さんのもう一つの肩書きが“村長”である。「昨年、取り壊される予定だった

築133年の古民家を活用し、年3000円の会費を払えば誰でも好きな時に泊まれる“シェアビレッジ”プロジェクトを始めました。秋田は人口の減少率が全国一。これを止めるためには「知って、来て、住んでもらう」が必要だと考え、田舎暮らし体験で秋田の魅力を伝え、移住の足がかりにしてもらった仕組みを立ち上げた。「普通のネーミングではおもしろくないので、古民家を一つの“村”に見立て、参加者は“村民”に。年3000円の“年貢”を払えば、いつでも里帰り（宿泊やイベント参加）できますよ。…ね？ なんだかワクワクしませんか（笑）。人をときめかせる仕組みこそ、都会の若者たちを地方に呼び込める力になると信じています」。事実、スタートから1年経った今は、全国に1000人近い“村民”がいる。「現在は秋田だけの展開ですが、オリンピックが開催される2020年までには全国に12村ほど立ち上げ、海外の人にも日本の原風景を見てもらいたいですね」。



シェアビレッジ

場所：秋田県南秋田郡五城目町
（秋田空港から車で40分）

村民（会員）になると、築133年の古民家で定期的に開催される田舎体験イベントを楽しんだり、宿泊（素泊まり1泊3000円）が可能に。多くの村民が消えゆく古民家を支え、再生させた。季節ごとに開催されるイベントで、住民や村民同士の交流も深まっている。申込み、問い合わせはHPで。

<http://sharevillage.jp/>



トラ男

HPで購入できる米は、若干高めの価格だが、稲刈り体験など様々なイベントサービスも提供している。現在は新米の予約を受け付け中。飲食店からの注文も多い。

<http://www.torao.jp/>

“農と食” 立命館も新たな展開へ

“食の安全”や“日本の農業”への関心が高まる中、立命館大学も農業や食分野で地域の活性化にチャレンジすると共に、新たな教学の展開を目指しています。



微生物に基づく土壌肥沃度診断の技術で安心安全な農作物生産に取り組む生命科学部・久保幹教授（写真右・会報260号で紹介）



【写真】舟田佳代

東寺 文化財保護課長

新見康子さん

1992年 文学部卒業



寺宝と向き合い、未来へ伝える

794年の平安京遷都後、まもなく創建された東寺。1200年の時を経て、平安京の風景と弘法大師空海の教えを今に伝えている。また密教美術の宝庫としても知られ、その所蔵数は国宝や重要文化財など指定文化財だけでも2万点、未指定文化財を含めると10万点にのぼる。これらを守り、後世へ引き継ごうとする校友の思いを聞いた。

“お寺の学芸員”ということ

新見 「学芸員」と言うと、みなさんは文化財の調査や管理、展示といった仕事を想像されるのではないのでしょうか。ですが私が勤めているのは博物館ではなく“寺院”なので、仕事も少し異なります。実は、宝物館に勤める学芸員の一番大切な仕事は、東寺で行われる法要の準備なんです。例えば、東寺では毎年1月に世界平和などを祈願して「後七日御修法」という真言宗の重要な儀式が行われています。これは弘法大師空海が835年に始め、何度か中断



東寺（教王護国寺）

京都市内に唯一残る平安京の遺構。平安京鎮護のために創建されたと伝えられ、弘法大師空海に下賜されてからは真言密教の根本寺院として繁栄した。ユネスコの世界文化遺産に「古都京都の文化財」のひとつとして登録されている。

しながらも現在まで続く儀式で、ここでは今も、弘法大師空海が唐から持ち帰った仏具が用いられています。これは国宝に指定されているものですが、今も使われている“生きる文化財”といえるでしょう。儀式前には、こういった仏具や仏画を設置し、行事が執り行われるように準備をします。これは、脈々と続いてきた東寺ならではの仕事ですね。



東寺には仏具の他に、建物、仏像、仏画や古文書など様々な文化財がありますが、常に何らかの文化財の修理が行われています。文化財の修理は何十年、何百年に1度、といった定期的なサイクルがあり、修理をする前に、まずその文化財にとってどのような方法が一番良いのかを関係者で話し合います。それがどのように用いられてきたか、これからどのように保存していくのか。それに合わせて判断するのですが、当然マニュアルはありませんし、この判断がとても難しいんです。ですから普段からその文化財を良く知り、伝来の過程や歴史的な位置づけなどを勉強しておかなければなりません。東寺に残る歴史書や古文書などを調べるのですが、過去に書かれた文書を紐解いて読んでみると、私の頭の中に、当時の風景が鮮やかに蘇ることがあります。そうして何度も考えをめぐらせ、疑問が解明できたときは、大きな喜びと楽しさを感じられますね。

東寺との出会い

それは、大学2回生の夏。東寺慶賀門の解体修理工事現場で行われた発掘調査に、アルバイトで参加したことから、新見さんと東寺の長い付き合いが始まることになった。



新見 日本史を学んでいた大学時代、東寺で門の解体修理工事があり、東寺の境内は平安京の遺構を残す史跡でもあるので、地下の発掘調査が行われることになりました。当時はあちこちで発掘調査のアルバイトを募集していて、大勢の学生たちが参加していました。発掘調査は炎天下で掘る仕事なので、参加するのはほとんどが男子学生。私も友人の紹介で東寺の発掘現場に応募したのですが、最初は体力を心配され、面接で落とされそうになったんです。あわてて「最後までやります」とアピールし、無事採用されることに。これが東寺との出会いになりました。発掘をしていると、現場の主任さんから「大学で日本史を専攻しているなら、史料を調べて欲しい」と言われ、古文書などを調べたこともありました。それが修理現場で役に立ったり、図面が書けたことから重宝がられ、たいへんよくしていただきましたね。現場では技師さんをはじめ、宮大工さんなど様々な職人たちが情熱を持って修理にあたっていて、ここで自然と文化財の現場の感覚が身に付きました。それが、今の私の原点です。

私のいた現場に時々「修理状況はどうか」と訪ねてこられるお坊さんがいました。ある日、「宝物館で働いてくれるアルバイトを探しているのですが、誰かいないでしょうか」と言われたんです。それを聞いた私は、「何でもやります」と言って、大学3年生からは宝物館でも働き始めました。それからはテーマに合わせた展示方法を学び、

調査の手伝いをするようになり、新米学芸員とほぼ同じ仕事を体験することができたんです。こうして、学生生活のうち半分が大学、残りの半分は東寺でのアルバイトという日々を経て、卒業後は職員として採用していただくことになりました。

就職して間もない頃、東寺では東寺創建1200年にあわせて記念の歴史書を作成するため、大々的な調査が始まりました。東寺には未調査の文化財も数多くあり、それらの全体を把握するのが、当時の私の仕事。調査には、彫刻や絵画など、各分野で第一線の研究者が参加していて、私はその手伝いをする中で、研究者の仕事を見ることができました。この時に、学芸員としての基礎を築くことができたように思います。

こうして学芸員としての道のりが始まりましたが、世間一般の職場と大きくちがうところは、寺院なので「出家と在家」があるということ。お坊さんか、そうでないかということは、普通の職場にはない意識ですよ。ここは会社でも役所でもなく、お寺なのだ」ということに最初は戸惑うこともありましたが、それも働いているうちに理解するようになりました。

「わかりやすく伝えるには？」 自問自答でチャレンジ

新見さんは日々文化財と向き合いながら、これらを未来へ残すために、中世の歴史書をもとに東寺の文化財を位置づける研究を行った。2008年にはその調査をまとめた書籍を出版し、博士の学位を取得。この地道な努力の積み重ねが、新見さんの活動を意外な方向へ広げていった。

新見 転機になったのは“伝える仕事”でしょうか。2003年から同志社大学で非常勤講師を、2009年には母校の立命館大学でも教壇に立つことになりました。いずれも学芸員課程の実習の授業です。これまで東寺で開く講座で解説することはありましたが、外に出て授業をするようになるとは思ってもみませんでしたから、「大丈夫だろうか」と心配したものです。でも同志社大学の博物館実習は、複数担任制ですので、他の先生の講義や実習のやり方はとても参考になりましたね。ただ当時は1クラス70～80名と多かったため、最初は学生とどう接していいのかよくわからず、とまどったのを覚えています。一方、立命館大学

の博物館・学内実習（文化財実習）では、掛幅（掛け軸）や卷子（巻物）などの取り扱い実習や、調書作成など、実際に“もの”に触れる授業が多いのが特徴。1クラス15～20名と、1人で教えるにはちょうどよい人数なので、学生との距離が近く、アットホームな雰囲気ですね。でもどの学生も、みんな最初は「上手く扱えるだろうか」と、緊張と不安のあまり手が動かないんです。そんな時はリラックスさせるため、「大丈夫。ちゃんとできているよ」と声をかけるようにしています。学生にはある程度の達成感を味わってもらいたいので、まずは緊張を解く工夫をしていますね。

教える立場になったことで、私自身も学ぶことがたくさんありました。ひとつは「どうしたらわかりやすく伝えられるか」ということ。学生は難しければ、「わからない」とストレートに反応を返してきます。だから常に「わかりやすく伝える方法」を意識してきました。

2010年に課長に就任しましたが、この頃から様々な講演に招かれる機会がふえました。一般の方にはあまり専門用語を使わずに、文化財の内容や歴史をわかりやすく伝える必要があります。これは私が追求してきた「わかりやすさ」をさらにいかすことのできるよい機会と思っています。この「わかりやすさ」は、学芸の仕事全体にも求められるもの。展示会の時の解説板や図録の原稿など、書いて伝えることも重要な仕事のひとつですが、「わかりやすさ」を意識してからは、試行錯誤しながら書いていました。何度も書いて、学芸員になりたての頃よりは良くなったでしょうか。それでも、まだまだ私は道半ば。「どうしたら伝わるだろうか」と考えながらさらに力を磨き、東寺の歴史や文化財の魅力を伝えていきたいですね。

1200年の歩みを未来へ

新見 様々な経験を積むと、文化財と向き合った時に、そこに隠された昔の人の考えや思いを読み取れるよう

PROFILE

東寺 文化財保護課長
にいみやすこ
新見康子さん（92文）



「目の前のことをひとつひとつこなす日々ですが、周囲の助けもあって、ここまで歩んできました。感謝しています」

1992年 立命館大学文学部（日本史学専攻）卒業
東寺宝物館学芸員

2008年 博士（文学・立命館大学）学位取得

2010年 東寺文化財保護課長

● 著書に『東寺宝物の成立過程の研究』（思文閣出版）、『もっと知りたい 東寺の仏たち』（東京美術）東寺監修・根立研介共著 など。



になります。以前、400年ほど前のお坊さんが建物の棟札に書いたもので、「自分はこういう思いで修理をするが、後の時代の人にもその志を知ってほしい」という文章を見つけたことがありました。その文章から、過去に同じ場所において、同じような状況で修理にあたり、同じことを考えているのだということをしみじみと感じたものです。きっと、私の前の時代に修理にあたった人も、同じように感じたのではないのでしょうか。時代は離れていても、人の思いは伝わるものがあります。こうした過去の積み重ねの上に、現在がある。そしてそこには、未来を考える皆さんの手がかりがあるはず。過去に関わった人の考えを理解し継承し、今に生きる私たちが手助けしてこそ未来へつながるのではないのでしょうか。

東寺の歴史は1200年。1人の人間が生きて、そこに開かれる時間は長くて40年ほどでしょう。私に関われる年月も、長い歴史の中ではほんの一瞬かもしれません。でもそこに自分の人生を埋め込むようにして、未来へ伝えるためにできるかぎりのことをしたいと思っています。

東寺宝物館開館五十周年記念
東寺名宝展 一 国風信帖と弘法大師ゆかりの書一

2015年9月20日（日）～11月25日（水）会期中無休
開館時間：午前9時～午後4時30分（入館は4時まで）
拝観料：大人500円／中学生以下300円
※期間中、一部展示替えがあります。風信帖の展示期間は、9月20日～10月22日です。

1アクセス | 東寺宝物館 京都市南区九条町1番地
●JR京都駅から徒歩15分、または京都市バスで「東寺東門前」下車




国宝 弘法大師尺牘（風信帖） 国宝 兜跋毘沙門天立像

一枚の記録が、 誰かの忘れられない記憶になれば

報道写真家の渋谷敦志さんは、東日本大震災発生直後から被災地の様子を記録し、今もそこで生きる人々を撮り続けています。「撮ることは自分と向き合うこと」と言う渋谷さん。その原点は、20年前の阪神淡路大震災までさかのぼります。



報道写真家 **渋谷敦志**さん（99産社）
 1975年 大阪府生まれ 高校生のときに戦場カメラマンを目指す
 1999年 大阪市西成区で野宿者の現状を撮影し MSFフォトジャーナリスト賞受賞
 2000年 日本写真家協会展金賞受賞
 2002年 London College of Printing (現ロンドン芸術大学) 卒業
 東日本大震災の被災地のほか、海外ではアンゴラの内戦、ソマリアの飢饉の現状、ウガンダのエイズ遺児など、災害や戦争、貧困の地で生きる人々を撮影。
 著書に『ファインダー越しの3.11』（原書房）、『希望のダンス エイズで親をなくしたウガンダの子どもたち』（学研教育出版）など。

一枚も撮れなかった 阪神淡路大震災

大学1年生だった1995年、阪神淡路大震災が発生しました。3週間ほど経った頃、

「自分の目で現場を見て、写真を撮りたい」という衝動から、ぼくは神戸に原付バイクで向かいました。しかし、写真は一枚も撮れませんでした。被害の甚大さに圧倒され、写真どころか、カメラをリュックから出すことさえできずに引き返したのです。無力感と悔しさでいっぱいでした。写真は現場に行ったからといって撮れるほど甘いものではなかった。人間にカメラを向けることの怖さを初めて思い知ったのです。その後、「人として何ができるか」と考え、あしなが育英会の募金活動に参加したり、休学してブラジルの法律事務所などで1年間働くなどして、写真とソーシャルワークを両立させるスタイルを模索するようになりました。大阪・西成区の野宿者に関する写真ルポに没頭する間に卒業を迎えたのですが、それが賞を受賞したことで、カメラマンとしてのキャリアをスタートすることに。その後は、エチオピアの貧困、アンゴラの内戦、カンボジアの人身売買など

海外の現場を撮影しました。災害の取材にもこだわり、スマトラ沖地震による津波では最大の被災地バンダアチェへ、カシミール地方の地震が起きた後もパキスタンの山岳地帯の被災地へ入りました。



震災後3週間の福島県南相馬市。原発の影響で多くの人が避難する中、被災地に残って行方不明の家族を捜した人たちの唯一の記録。今も父親と3歳の息子を捜す上野敬幸さん（下段中央）を、渋谷さんは撮り続けている。

撮ることは、生き方そのもの

振り返ると、阪神淡路大震災の時に一枚も撮れなかったからこそ、今があるような気がします。撮れなかった経験によって、写真を撮ることの意味を考えさせられた。その後、今日に至るまで20年、人間にカメラを向けながら、写真を撮る行為と自分の生き方を少

しずつシンクロさせるように努力することで、写真はぼくの人生の記録であり、生き方そのものになってきました。単に写真を撮って伝えるだけが報道写真家の仕事ではない。写真を撮ることで自己と向き合い、その先に社会とつながる道を模索すること、そこに写真の可能性を感じています。写真を通じて誰かに何かに報いる道、それを探し求めることが「報道」なのではないか。そう思うようになりました。

東日本大震災が起きたのは、そんな写真の本質を自分なりにつかみ始めた頃でしたが、それまでの経験や学びを吹き飛ばして無力化するほどの衝撃を受けました。3月11日はウガンダにいたため、被災地入りし

たのは震災発生から10日ほど経っていました。同じ時期にアフリカで取材していた友人の佐藤慧さんの両親が陸前高田市で行方不明になっていて、彼と陸前高田で再会するところから取材が始まりました。岩手に続いて向かった福島の南相馬では、今も取材を続けている上野敬幸さんに出会いました。（写真・下段中央が上野さん）上野さんは両親と息子、娘を津波で失い、原発事故で自衛隊も警察も消防も助けに来ない中、行方不明の家族を自力で捜していました。そして、今も捜し続けています。その姿

を写真に撮ることで、たった一枚の記録が誰かの忘れられない記憶になればと思いを込めて、写真を撮り続けています。このときの初期の取材記は、佐藤慧さんと安田菜津紀さんと3人で『ファインダー越しの3.11』にまとめて出版しました。



立命館大学校友会東日本大震災復興支援金について

2015年5月1日～2015年7月31日に以下のみなさまから復興支援金をお寄せいただきました。ご協力いただきましたみなさまに心よりお礼を申し上げます。

■ 個人（卒業年・50音順）※敬称略



個人情報保護のため、PDFではご協力いただいたみなさまのお名前を非表示としています。

※卒業年、学部・研究科名は、校友会に登録されている情報に基づき記載しています。なお複数の学部・研究科を卒業・修了されている場合は、最終歴を記載しています。

■ 復興支援金・義援金 受付状況

合計 19,566,171 円
(2015年7月31日現在)

個人 7,775 名 14,782,679 円
 団体・グループ 189 件 4,783,492 円

復興支援金 募集

復興支援特別委員会は今後の復興支援事業のあり方について東北三県（岩手県、宮城県、福島県）校友会と協議し、被災地校友会による復興に向けた取り組みのサポートを目的とした「復興支援金」の募集を進めています。現地校友会による復興活動を応援するために、引き続き校友の皆さまのご支援・ご協力を宜しくお願い致します。

※校友（個人）へのお見舞金とすることを目的とした「義援金」の受け付けは2013年7月31日をもって終了いたしました。

■ 受付方法

募集の期間や口座・金額等は定めておりません。

〈個人〉

振込み手続きの際には、振込み人名の欄に、氏名、卒業年、学部名を記入（入力）してください。

例：「リツメイ タロウ S56 ケイザイ」

学部名の記入（入力）は、以下のとおりとしてください。

法学部=ホウ 薬学部=ヤク 映像学部=エイソウ
 経済学部=ケイザイ 国際関係学部=コク 理工学部=リコウ
 経営学部=ケイエイ 文学部=ブン 情報理工学部=ジョウリ
 産業社会学部=サン 政策科学部=セイサク スポーツ健康科学部=スポーツ

〈団体・グループ〉

振込み手続きの際には、振込み人名の欄に、団体・グループ名を記入（入力）してください。

〈芳名の公表〉

ご協力いただいた個人、団体・グループについては、芳名を、会報「りつめい」に掲載させていただきます。

匿名を希望される場合は、振込み手続きの際、振込み人名の欄に、氏名とともに「トクメイ」と記入（入力）してください。

例：「リツメイ タロウ トクメイ」

なお、この支援金募集に関わって、本会では領収証等の発行は行いません。予めご了承ください。ご不明な点がございましたら、立命館大学校友会事務局（フリーダイヤル 0120-252-094）までご連絡ください。

受付口座 1

京都銀行 二条駅前支店
 (普) 1046732 (銀行コード 0158 / 店番コード 129)
 口座名義：立命館大学校友会復興支援金
 同行本・支店間での振込みの場合、窓口・ATMともに振込手数料は無料となります。

受付口座 2

京都中央信用金庫 三条支店
 (普) 1206103 (銀行コード 1611 / 店番コード 006)
 口座名義：立命館大学校友会復興支援金
 同金庫本・支店間での窓口利用振込の場合「復興支援金の振込である旨」お申し出いただくことにより手数料が無料となります。但し、窓口以外の振込（インターネットやATM等）の場合は手数料が発生します。

受付口座 3

みずほ銀行 京都中央支店
 (普) 2405688 (銀行コード 0001 / 店番コード 473)
 口座名義：立命館大学校友会復興支援金
 同行本支店間・みずほコーポレート銀行本支店からの振込みの場合、窓口・ATMともに振込手数料は無料となります。

受付口座 4

ゆうちょ銀行 口座間の振替、窓口備え付けの「払込取扱票」をご利用の場合は以下へお願いいたします。
 口座記号・口座番号：00950-8-164788
 口座名義（加入者名）：立命館大学校友会
 他行からの振込の場合は以下へお願いいたします。
 ゆうちょ銀行 ○九九店 (当) 164788
 (銀行コード 9900 / 店番コード 099)
 口座名義：立命館大学校友会
 ※誠に恐れ入りますが、振込手数料についてはご負担をお願いいたします。

小さな変化が、 家族にもたらす物語

家族の間で様々な問題が起きた時、どうしたら良くなるのか？ 家族心理臨床では、家族は「お互いに影響を与え合っている一つのまとまり」と考えます。ではこのまとまりに、ちょっと変化を加えてみたら…？ 30年以上にわたり、家族問題に関わってきたカウンセラーで漫画家の団士郎教授に「家族問題への取り組み方」を聞きました。

私が専門にしている「家族療法」というのは、問題を抱えた家族が、自分たちの力で変化できるよう、援助することです。家族が様々な問題を抱えている時、その原因は一つではなく、互いが影響しあっています。ここで大切なのは、いきなり解決を目指すのではなく、まず小さな変化を促すことです。面談に来る人に、「他にどんなやり方を考えましたか？」と聞くと、ほとんどの人が別のプランも持っています。それを実行してみると状況が

ほんの少し変わり、結果的に問題を軽くしてくれます。この変化を促し、行き詰った暮らしに風穴をあけるのが「援助」なのです。ここで、中学生になる娘の非行問題に悩んでいた夫婦の相談例をあげてみましょう。カウンセリングで夫婦は「実は離婚話が進んでいる」と吐露しましたが、私は「夫婦の問題ではなく、今はとにかく2人で徹底的に娘さんの問題に対応してください」と言いました。その後、2人は家出した娘を探すなどかなり努力

されました。結果、娘の非行はおさまることに。そして2人で問題に取り組んだことで、夫婦関係も変化していきました。このように部分的な問題を突き詰めるのではなく、どこかに小さな変化を促すことで、全体の“しんどさ”を軽くするのです。こんなことがわかりやすく伝わればと、私は漫画を描いています。様々な問題を乗り越えていく家族の物語が被災地へのエールになればと思い、東日本・家族応援プロジェクトとして『木陰の物語』を出版しています。毎年1万冊が、被災地だけではなく、全国各地で手から手へと渡され、広がっています。誰の人生にも悩みはあります。私の経

応用人間科学研究科 団士郎 教授



【写真】STUDIO ALMA・平林義章

Profile Shiro Dan

専門領域・家族心理臨床、家族療法
公立児童相談機関などで約25年間家族問題に関わった後、1998年に「仕事場D・A・N」として独立。2001年から立命館大学大学院教授。現在は相談（家族面接、個人面接）、教育、現任者訓練（対人援助職者のためのワークショップ）、漫画家・執筆者としての発信すべてを、家族心理臨床をベースに展開している。著書に『家族の練習問題—木陰の物語』シリーズ（ホンブックス）、『家族理解入門』（中央法規）、『不登校の解法』（文春新書）他多数。東日本・家族応援プロジェクトの取り組みは立命館大学応用人間科学研究科HPで報告している。

験から感じるのは「ほとんどの問題には解決の道がある」ということ。悩んだ時は原因と結果だけを考えるのではなく、これまでと違う方法、ちょっと面白がることを見つけてください。それが人生に変化をもたらすはずですよ。

『木陰の物語』届ける！プロジェクト

冊子をご指定のご住所にお送りします
*10冊単位、1人20冊まで

送料無料 参加無料

1 申込み
【メール】QRコードを読み取り、メールフォームの件名に「届ける！プロジェクト」、本文にお名前、郵便番号、ご住所、お電話番号、必要冊数を記入して送信。
【Facebook】Facebookページの「届ける！プロジェクト」へ、上記と同様の内容をメッセージで送信。
2 ホンブックスから返信後、1、2週間で届きます。
3 あなたの周りの大切な方々へ“木陰の物語”をお渡し下さい。

携帯 スマホ





行事報告

2015年5月下旬～2015年8月下旬に行われた各団体の行事、今後の予定を紹介しています。

*詳しくは校友会ホームページをご覧ください
<http://alumni.ritsumei.jp>

都道府県校友会／海外校友会

6月13日

奈良県校友会総会

44名 権原神宮養正殿



山梨県校友会総会

37名 ビジネスホテル登り坂



6月14日

三重県校友会総会

170名 ブラザ洞津



6月20日

和歌山県校友会総会

100名 ホテルグランヴィア和歌山



6月27日

滋賀県校友会総会

100名 大津プリンスホテル



高知県校友会総会

40名 ザ・クラウンパレス新阪急高知



6月28日

山形県校友会総会

30名 ホテルキャッスル



7月4日

大阪校友会総会

700名 立命館大学大阪いばらきキャンパス



岩手県校友会総会

29名 ホテルニューカーリナ



香川県校友会総会

158名 ホテルパールガーデン



7月11日

タイ王国総会校友会

42名 バンコク市内



秋田県校友会総会

16名 パーティーギャラリーイヤタカ



富山県校友会総会

35名 パレブラン高志会館



佐賀県校友会総会

38名 ホテルニューオータニ佐賀



7月18日

神奈川県校友大会

83名 崎陽軒本店



7月20日

宮城県校友会総会

45名 仙台ガーデンパレス



7月25日

島根県校友会総会

約35名 サンラポーむらくも



青森県校友会総会

26名 ウェディングプラザアラスカ



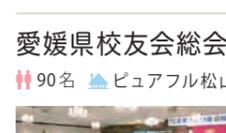
岐阜県校友会総会

105名 ホテルグランヴェール岐阜



徳島県校友会総会

90名 阿波観光ホテル



愛媛県校友会総会

90名 ビュアフル松山



長崎県校友会総会

74名 サンプリエール



7月26日

岡山県校友会総会

180名 アークホテル岡山



静岡県校友会総会

74名 クーポール会館



8月1日

沖縄県校友会総会

ホテルロイヤルオリオン



地域校友会

6月6日

福岡県校友会筑後会総会

32名 久留米ホテルエスプリ



6月15日

福知山校友会総会

23名 たかた荘



東広島地区校友会総会

21名 賀茂泉館泉ホール



6月21日

愛知県校友会東三河支部総会

82名 ホテルアソシア豊橋



7月4日

山口周南地区校友会総会

54名 ホテルサンルート徳山



7月8日

八幡支部総会

27名 八幡市立松花堂美術館別館



7月11日

亀岡校友会総会

21名 ガレリアかめおか



東京校友会「女性セミナー」20回目を迎える! 元NFLチア小島智子さんが登場

TOPICS



2015年6月27日、立命館大学東京キャンパスで東京校友会女性セミナーが開催され、43人が参加しました。20回目となるこの会には、NFLのチアリーダーとして活躍し、現在追手門学院大学客員教授の小島智子さんが登場。「立命魂で達成した奇跡 in USA」として大学からチ

アリーダーを始め、NFLで初の日本人キャプテンになるまでの道のりを話しました。小島さんはNFLで日本人としては最長の8年連続でチアを務め、最終年にはキャプテンとして経験を積んだことから、リーダーとしての経験や心構えについて語り、参加者らは様々な挫折を乗り越えながら、夢に向かって力強く歩む小島さんの話に聞き入っていました。





7月26日
長野県校友会飯伊地区会総会

21名 湯～眠



職域校友会

6月27日
滋賀銀行比叡会総会

約100名 大津プリンスホテル



7月22日
金沢市役所立林会

17名 長八 金沢片町店



池田泉州銀行立命会総会

スイスホテル南海大阪



その他の会

5月23日
立命大神保ゼミ

13名 広島県内



6月6日
ウリ同窓会

80名 ホテルグランヴィア京都



6月13日
リコネクト関西
立命館パパ・ママ子育て応援企画

42名 立命館大学大阪いばらきキャンパス



7月8日
大阪立命会
(大阪府立高校管理職OB会)

17名 百楽本店



8月29日
新演劇研究部同窓会

9名 富美屋



戦後70年、愛知県豊川市で学生慰霊祭

2015年8月7日、立命館大学愛知県校友会東三河支部が、豊川市諏訪墓地で豊川海軍工廠戦没学生慰霊祭を行いました。この地では、1945年8月7日午前10時30分、豊川海軍工廠は米軍の空襲によって勤労動員していた学生約2500名が死亡。その中には、立命館大学の4名の学生(本田義次氏、津野森正氏、石川巖氏、相原和男氏)が含まれていました。戦後、その同級生の方々は「立命館

大学22年専経同窓会」を組織し、4名の慰霊に努めてきました。

終戦から70年を迎えた今年の慰霊祭では、まず全員で校歌を斉唱。空襲が始まった午前10時30分には、市内に鳴り響くサイレンに合わせて黙祷を行いました。そして吉田総長の追悼の辞に続き、小川公男支部長が「慰霊祭は東三河支部の使命である。何代にもわたって継承していきたい」と述べました。最後に同級

生代表の黒崎徳之助氏(47年専経)が「お国のためとはいえ、もう1週間終戦が早かったら、いや、あんな悲惨な戦争がなかったら、前途有望な若き命を散らすことも無かつたらうと、無念の涙を止めることができません」と涙を流しながら追悼の辞を読むと、参加者からも嗚咽の声が聞かれました。その後、参加者全員で献花をし、70年という歴史の重みと、平和への願いを共にしました。



TOPICS

今後の行事予定

2015年9月～2016年2月に
予定されている総会です(判明分)

※掲載の予定は一部です。
詳しくは校友会ホームページをご覧ください
<http://alumni.ritsumeijp>

校友会・グループ	日程	会場	問い合わせ先
栃木県校友会総会	9月26日(土) 14:00	宇都宮東武ホテル・グランデ	笠原 朋雄 028(673)1783
宮崎県校友会総会	10月3日(土) 17:30	ホテルメリージュ	南 英輝 0985(44)1975
オール立命館校友大会 2015 in OIC	10月11日(日)	大阪いばらきキャンパス	校友会事務局 075(813)8216
京都校友会総会	10月11日(日) 15:00	大阪いばらきキャンパス	立命館大学校友・父母課 075(813)8216
兵庫県校友会総会	10月11日(日) 15:00	大阪いばらきキャンパス	伊藤 四朗 078(451)7751
大阪いばらき立命会総会	10月11日(日)	大阪いばらきキャンパス	寺田 豊 072(637)0106
高槻・島本校友会総会	10月17日(土) 16:30	マリアージュ	渡邊 昇 072(673)1634
石川県校友会総会	10月18日(日) 17:00	金沢ニューグランドホテル	木場 密雄 076(243)5806
岐阜県建設会総会	10月23日(金) 18:00	ホテルリソル岐阜	
新潟県校友会総会	10月24日(土) 14:30	ホテルラングウッド新潟	小畑 正敏 025(247)2478
茨城県校友会総会	10月25日(日)	三の丸ホテル	木村 幸夫 029(252)8401
立命館清和会総会	10月31日(土) 15:00	ウェスティン都ホテル京都	立命館清和会事務局 075(323)7111
北摂校友会総会	10月31日(土) 17:00	千里阪急ホテル	湯川 正之 (職)06(6844)2001
山口県校友会総会	10月31日(土) 17:00	ユウベルホテル松政	中村 史朗 083(924)0283
東北道校友会総会	10月31日(土) 18:00	アパホテル帯広駅前	本田 公一 0155(23)7414
千葉県校友会総会	11月1日(日) 13:00	市川グランドホテル	山口 富彌 047(462)8029
北九州校友会総会	11月1日(日) 16:00	ホテルクラウンパレス小倉	初村 雅敬 093(882)9240
鹿児島県校友会総会	11月7日(土) 15:00	城山観光ホテル 飛天の間	川窪 宏一 099(253)3336
立命館大学軟式庭球同好会 OB・OG 会総会	11月7日(土)	琵琶湖ホテル	
鳥取県東部校友会総会	11月13日(金)	ホテルモナーク鳥取	西垣 佳則 (職)0857(30)0555
埼玉県校友会総会	11月14日(土) 11:30	越谷コミュニティセンター	榎本 哲郎 03(3552)2201
愛知県校友会総会	11月14日(土)	名鉄グランドホテル	加藤 智大 Fax 052(937)1250
福岡県校友会総会	11月14日(土) 17:30	ソラリア西鉄ホテル	清家 邦敏 092(472)2621
宇部小野田校友会総会	11月14日(土) 18:00	国際ホテル宇部	森島 正信 0836(34)8604
鳥取県西部校友会総会	11月21日(土)		大野木昭夫 (職)0859(32)3308
広島県東部校友会総会	11月23日(祝・日) 16:30	ヴェルデュ都	島田 斉 084(922)6361
大分県校友会総会	11月28日(土)	大分センチュリーホテル	佐藤 昌彦 097(521)5392
広島県西部地区校友会総会	11月28日(土) 17:00	宮島コーラルホテル	
群馬県校友会総会	11月予定		石橋 博 027(372)8422
情報会ホームカミングデー in 東京	12月5日(土) 13:00	秋葉原コンベンションホール	
建立会総会	2016年1月16日(土)		
北海道校友会総会	2016年1月30日(土)	京王プラザホテル札幌	中川 均 (職)011(251)3373
東京校友会総会	2016年2月6日(土)	明治記念館	立命館東京キャンパス 03(5224)8188

申し込み不要の
イベントも盛りだくさん!!

※事前申し込みが必要な企画の受付は、締め切っております。

空のプラザでは、
学生による演奏・
パフォーマンスの
CMステージも!!
12:00～14:50～



キャンパス見学会

集合場所 空のプラザ 各回 約1時間(予定)

後輩学生たちによる案内で、
キャンパス全体が学びの空間となっている
OICの魅力をご紹介します!

11:00～、11:30～、
11:30～14:00(随時受付・出発)、
15:00～、15:30～

※お持ちいただく場合がございます。
時間に余裕を持ってお越しください。

オール立命館校友大会 2015 in OIC 10/11 sun

立命館大学大阪いばらきキャンパス(OIC)

主催/立命館大学校友会

共催/立命館大学、立命館大学父母教育後援会 後援/立命館アジア太平洋大学

学生によるステージ・ パフォーマンス

15:00～16:15
@ B棟2F グランドホール

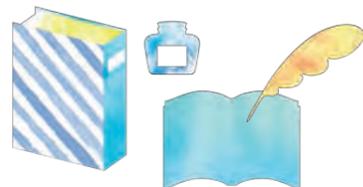
創団60周年を迎える交響楽団をはじめ、世界・全国大会で活躍するダブルダッチ、JAZZのビックバンドなど様々な団体が演奏・パフォーマンスを行う予定です。



「+R個人奨励奨学金」 採用者による 成果報告会

15:00～16:00
@ B棟2F R-AGORA

校友会が支援を行なっている「+R個人奨励奨学金」。この奨学金採用者たちが、授業の枠を超えた学びや活動の成果を発表します。



学生考案の ご当地ソフトを販売

12:00～(売り切れ次第終了)
@C棟1F OIC Cafeteria

日世株式会社・サッポロホールディングス株式会社・茨木商工会議所の協力を得て学生が考案したソフトクリームを販売。茨木の新名物をご賞味ください。



会場 立命館大学大阪いばらきキャンパス(OIC) 〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150

アクセス JR茨木駅から徒歩約5分、大阪モノレール宇野辺駅から徒歩約7分、阪急南茨木駅から徒歩約10分

注意事項 会場には駐車場がありませんので、お越しになる際は公共交通機関をご利用ください。立命館大学はキャンパス全面禁煙です。キャンパス構内での禁煙にご協力をお願いします。また、茨木市内全域が路上喫煙防止の努力義務区域ですので、キャンパス外での路上喫煙もご遠慮ください。

「オール立命館校友大会 2015 in OIC」開催記念

後輩・母校の未来への贈り物

「校友会未来人財育成基金」会場での募集のお知らせ

「校友会未来人財育成基金」への寄付は、立命館大学に対する寄付になります。立命館大学校友会は、後輩・母校支援のため立命館大学とともに「校友会未来人財育成基金」の募集推進を行っています。

特別募集要項

「オール立命館校友大会 2015 in OIC」では、当日会場での「校友会未来人財育成基金」の募集を行います。

募集場所 大阪いばらきキャンパス B棟2階 R-AGORAに、特別ブースを設置いたします。

ブースの概要 特別ブースにてその場でWEBでのお申し込みを行なって頂くことができます。また、お申込み用紙も用意しておりますのでご自由にお持ち帰り下さい。寄付の方法についてもご説明させていただきます。

申込金額 (1) 個人の場合：ひと口1,000円からご支援いただけます。
(継続的な寄付[毎月・毎年・年2回]をぜひお願いします)
(2) 法人の場合：ひと口の金額は特に定めておりません。

ご報告 立命館学園が発行するWEB芳名録等へご芳名やご寄付金額を掲載いたします。
*ご希望に応じて氏名・金額を掲載しないこともできます。

当日、ブースでは校友会広報委員が未来人財育成基金のパンフレットや、会報「りつめい」のバックナンバーなどを用意してお待ちしています。ぜひお立ち寄りください。

税制上の優遇措置について 本寄付は立命館大学に対する寄付金であり、税制上の優遇措置を受けることができます。

お問合せ先 (受付時間：土日祝を除く9:30～17:00)

- 本特別募集に関しては・・・立命館大学校友会事務局 075-813-8216
- 税制上の優遇措置に関しては・・・立命館 総務部 寄付事務局 075-813-8110



これが目印です!

オール立命館校友大会 2015 in OIC アカデミック企画先読みコラム 改めて学ぶ 立命館Spiritに影響を与えた人物

② 西園寺公望

政治家・教育者・公爵



1849年 京都府で生まれる
1869年 私塾・立命館を創設
1871年 パリのソルボンヌ大学へ留学
1881年 東洋自由新聞を創刊後、政界入り
1885年-1891年 オーストリア公使、ドイツ公使、ベルギー公使を歴任 帰国後、貴族院副議員に就任
1894年 伊藤内閣で文部大臣に就任
1906年 第一次西園寺内閣を組閣、第12代総理大臣に就任
1911年 第二次内閣を組閣、第14代総理大臣に就任
1936年 2・26事件の後、元老を辞退
1940年 91歳で逝去

③ 中川小十郎

政治家・教育者・実業家



1866年 現在の京都府亀岡に生まれる
1893年 帝国大学を卒業
1900年 立命館大学の前身、京都法政学校創立
1905年 立命館学監、私立清和普通学校創設
1906年 第1次西園寺内閣、内閣総理大臣秘書官
1920年 台湾銀行頭取に就任
1931年 立命館総長に就任
1944年 78歳で逝去

西園寺公望は1869(明治2)年、京都御所内にあった自邸に私塾「立命館」を創設。その意志を引き継いで、文部大臣時代の西園寺の秘書だった中川小十郎が、1900(明治33)年に立命館大学の前身「私立京都法政学校」を設立しました。「オール立命館校友大会 2015 in OIC」アカデミック企画では、新しい時代を担う若者を育てるべく尽力した人々の歴史と今に引き継がれる立命館Spiritをご紹介します。



お問い合わせ

立命館大学校友会事務局(立命館大学社会連携部 校友・父母課)
〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1番地 TEL/075-813-8216 e-mail/alumni@stritsumeiac.jp http://hajimari.info/

校友会
未来人財
育成基金

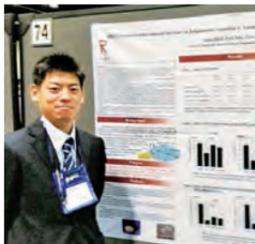
後輩・母校の夢を応援する 「校友会未来人財育成基金」へ

立命館大学校友会は、信念のもとに、果敢に未来を切り拓こうとする後輩たちを応援しています。
今回は、3人の学生たちが立命館大学の支援を受けて挑戦し、実現した夢と成長の様子、そしてこれからの目標を紹介します。

01

堀居直希さん (スポ健4) 高齢者の加齢に伴う 筋量・筋機能の低下予防と改善

高齢者人口が増え続ける先進国を中心に、加齢による筋量、筋機能の低下(サルコペニア)が大きな問題となっています。サルコペニアは転倒、骨折のリスクを増加させ、進行が進むと寝たきりになってしまいます。この問題に着目した堀居さんは、健康寿命の延伸に向けた研究に取り組み、社会へ発信しています。



活動内容 国内や国際学会で発表をし、他大学の先生方とディスカッションをする中で、自分の研究分野の視野を広めてきました。

学びと成長 学会に参加することで最先端の研究内容に触れることができ、自身の研究内容を深めることができました。

今後の目標 国際学会に参加するだけでなく、ヒトの健康維持・増進に向けて学んだことを地域に貢献できるようにしたいと思っています。



国際学会で発表する堀居さん



02

河原風花さん (産社4) 復興支援から“地元主体”の 復興を目指す

東日本大震災直後、「復興のために自分ができることは何か」と考えた河原風花さん。被災した岩手、宮城、福島の博物館を支援するため、地元の大学や博物館と共に、子どもたちを対象にしたワークショップを企画してきました。



活動内容 大船渡でワークショップに使用する階層の調査と採集をした後、岩手大学、東北大学総合学術博物館の協力を得て、岩手県野田村で子どもワークショップを開催するなど、東北各地にて地域の自然をテーマにしたワークショップを実施しました。

学びと成長 人の支えになること、人と協力して何かを為すことの難しさや大切さを知ることができました。

今後の目標 卒業論文の制作を控えているので、このような取り組みを学問的な裏付けと共に残すことに挑戦したいと思っています。



フィールドワークには、現地の子どもたちが参加し、楽しみながら学んだ

03

齋藤 怜さん (産社4) エネルギーや環境問題の視点から 平和を考え、社会へ伝える

2011年、当時高校生だった齋藤さんは、福島県いわき市で東日本大震災により被災しました。その後、故郷を家族で離れ、関西へ避難。この経験から災害復興やエネルギー問題に関心を持つようになり、現在は原子力発電に依存しない社会のあり方について研究を進めています。



活動内容 故郷福島県での被災経験から、原発事故被災地でフィールドワークを行い、被害状況の調査をしました。また、被災地の現状をインドネシアのガジャ・マダ大学で報告しました。

学びと成長 自分の足を利用して現場で情報を得ることや、問題を多くの人に伝えて一緒に考えていくことが大切であると学びました。

今後の目標 原発の使用済み核燃料処理や再生可能エネルギー普及に向けた制度について、フィールドワークを通して学びます。



インドネシア/インドネシアのガジャ・マダ大学で現地の学生に日本の被災状況を伝えた



ワークショップ/リーダーとして、エネルギー問題について考えるNGOワークショップ「エネルギーと平和」を開催



富岡町/フィールドワークにて。東京電力福島第1原子力発電所事故に伴う福島県富岡町の汚染土

今回ご紹介した3人のように、立命館大学には様々な社会問題に着目し、自らの力で解決に向けて取り組もうとする学生たちがいます。学生たちのチャレンジと経験、そして成長が、社会を動かす一歩となっています。みなさまの支援は、このように未来を切り拓こうとする母校の後輩たちの夢を後押しします。今後も、ぜひ後輩たちのさらなる挑戦と成長にご注目ください。

募集要項

1. 寄付の金額
 (1) 個人の場合/ひと口1,000円からご支援いただけます。
 (継続的な寄付【毎月・毎年・年2回】をぜひお願いします)
 (2) 法人の場合/ひと口の金額は特に定めておりません。

2. 募集期間
 期間に定めはありません。

3. 寄付の目標額 (第1次活用プラン)
 10億円 (2012年10月1日～2020年3月31日)

4. 申込方法

① WEBで申込む
 立命館大学校友会のホームページよりお申込みください。
 簡単な手続きで完了いたします。
 クレジットカードをはじめ銀行振込・コンビニ決済など多様な方法にてご寄付いただけます。

<http://gift2r.info>

② 書面で申込む
 校友会事務局に資料をご請求ください。
 銀行振込・口座振替にてご寄付いただけます。

←携帯電話からのアクセスはこちら!

※一部機種によってはご覧いただけない場合がございます。

5. 第1次活用プラン (2012年～2020年)
 「学生×校友×京都」グローバル人材育成交流拠点の設置
 ～過去・現在・未来を結ぶ空間、校友の経験値を後輩に繋ぐ出発点～

6. 税制上の優遇措置について
 本寄付は立命館大学に対する寄付金であり、税制上の優遇措置を受けることができます。

お問合せ先
 (受付時間: 土日祝を除く 9:30～17:00)

■ 校友会未来人財育成基金に関しては・・・

■ 寄付の受入れ、税制上の優遇措置に関しては・・・

立命館大学校友会事務局 075-813-8216

立命館 総務部 寄付事務局 075-813-8110



SPORTS スポーツ

問い合わせ先: スポーツ強化センター
 075-465-8167

ユニバーシアード競技大会

**第28回ユニバーシアード競技大会
 韓国・光州大会で立命館大学の
 学生が健闘**

(7月3~14日 韓国・光州)

第28回ユニバーシアード競技大会において、5競技6名の立命館大学の学生たちが出場しました。

日本が獲得した金メダルは1995年の福岡大会や前回大会を一つ上回る過去最多の25個、開催国の韓国47個、ロシアと中国が34個で続き、日本は4位でした。メダルの獲得総数では、銀メダルが25個、銅メダルが35個で総数85個となり、ロシア、韓国に続いて3位となりました。立命館大学の学生が出場した各競技・種目の結果は以下の通りです。

【陸上競技(女子)】

◆女子ハーフマラソン

菅野七虹さん(経済3) 2位

◆女子5,000m

大森菜月さん(スポ健3) 7位

【水泳(女子1m飛板飛込)】

馬淵優佳さん(スポ健3) 4位

【サッカー(男子)】

茂平さん(政策4) 3位

【野球】

山足達也さん(産社4) 優勝

【ライフル射撃】

長谷川智彦さん(経営2)

男子10mAR 個人:36位

男子10mAR 団体:10位

日本拳法部(男子)

**日本拳法部(男子)が全国大学選抜
 選手権大会で2年連続三度目の
 全国制覇**

(6月7日 東京・早稲田大学記念会堂)

日本拳法第28回全国大学選抜選手権大会において、日本拳法部(男子)が、2年連続3度目の全国優勝を果たしました。今大会は、全国の強豪校36校がエン

トリーしてトーナメント方式で競われ、各試合では、各校から5人がエントリーする5人制対試合(3分間3本勝負)が行われました。決勝の明治大学戦は、大将同士の対戦で決着する接戦となりましたが、大将戦を制し、3勝2敗で勝利し、2年連続3回目の全国制覇を決めました。井上貴文監督は「優勝を狙うという強い気持ちで奮起した結果、2年連続、3回目の全国連覇を達成することができました」と述べました。個人では、同部の赤井太風さん(文3)が今大会の最優秀選手賞に選ばれました。



優勝した日本拳法部(男子)のみなさん

陸上競技部

**日本学生陸上競技個人選手権で
 陸上競技部が男女ともに大活躍**

(6月12~14日 神奈川・Shonan BMW スタジアム平塚)

2015日本学生陸上競技個人選手権において、110mHで鍵本真啓さん(スポ健2)が、13"94(+1.4)の自己ベストで優勝を果たしました。また、円盤投げにおいても堀江省太さん(スポ健4)が50m70と関西新記録で準優勝、女子では400mHで王子田(おうしでん)萌さん(スポ健4)が準優勝、梅原紗月さん(スポ健3)が3位と好成績を収めました。今後のさらなる活躍が期待されます。



110mHで優勝した鍵本さん(左から2番目)

弓道部

**弓道部が全国大学弓道選抜大会男子
 団体競技で7年ぶり3回目の優勝**

(6月27、28日 東京・明治神宮至誠館弓道場)

第27回全国大学弓道選抜大会におい



て、弓道部が男子団体競技で優勝を果たし、2014年11月の全国学生弓道王座決定戦に続き、全国大会

で連続優勝を達成しました。全国大学選抜大会は、全国各地から選抜された男子51校、女子46校で学生弓道の頂点を争う大会であり、予選を勝ち抜いた16校により決勝トーナメントが行われました。試合は、昨年全日本学生選手権で敗れた慶応義塾大学を準決勝で破り決勝に進出。迎えた決勝の明治大学戦では、前半10射終了時に2本差のリード(9対7)を許しましたが、後半10射は立命館大学が全部的中させ逆転。最後は2本差をつけ(17対15)、優勝を決めました。

◆優勝メンバー

福呂 淳監督

吉田 志コーチ

(2014年パリ世界大会優勝者)

宮城利也さん(政策4)

伊藤宇俊さん(産社4)

石山遼河さん(国関3)

小林遊さん(生命3)

藤田裕基さん(映像3)

當麻直哉さん(産社2)

豊崎勝也さん(生命2)



全国制覇を成し遂げた弓道部のみなさん

相撲部

**相撲部女子が全日本女子相撲部
 上大会団体戦で初優勝**

(7月25日 岐阜県郡上市相撲場)

相撲部女子が、第6回全日本女子相撲部上大会の一般の部(高校~社会人)団体戦において、創部初の優勝を果たしました。優勝を決めた際には、選手一同抱き合い喜びを分かち合いました。また、個

人戦でも軽量級で山中未久さん(スポ健4)が優勝、野崎舞夏星さん(スポ健1)が準優勝、重量級で稲葉映美さん(スポ健3)が優勝という優秀な成績を収めました。また、同日に堺市大浜公園相撲場で開催された西日本学生相撲個人体重別選手権大会の75キロ未満級において、松本拓也さん(法2)が3位入賞を果たしました。男子、女子ともに今後の活躍が期待されます。



喜びを分かち合う相撲部(女子)のみなさん



75キロ未満級で3位入賞した松本さん(写真左)と立命館アジア太平洋大学相撲部の染原宏紀さん(写真右)

CULTURE/ART 文化・芸術

問い合わせ先: 学生オフィス
 075-465-8167

将棋研究会

**将棋研究会 第71回学生名人戦で
 準優勝、3位を獲得**

(6月6、7日 東京・チサンホテル浜松町)



表彰状を手にした銭本さん(写真左)と新貝さん(写真右)

第71回学生名人戦(主催:全日本学生将棋連盟)において、将棋研究会の銭本幹生さん(産社1)が準優勝、新貝涼太さん(産社2)が3位を獲得しました。今大会は、全国8地区の予選を勝ち抜いた32人がトーナメント形式で対戦。銭本さんは、決勝では東京大学の村上由樹さんに惜しくも敗れたものの、初出場で準優勝を果たしました。2014年は学生王座戦でも優勝している将棋研究会。個人戦で好成績を挙げた

勢いそのまま、団体戦ではタイトル獲得が期待されます。

★ **草津天文研究会**

**草津天文研究会が
 「夏の星座学習会」を開催**

(7月4日 滋賀県・草津市立まちづくりセンター)

学生団体「草津天文研究会」が「夏の星座学習会」を開催しました。小学生と保護者の方を合わせて54人が参加しました。このイベントは毎年、まちづくりセンターと草津天文研究会で開催しているものです。今年は手作りの投影機とドームを使ったプラネタリウム公演と、七夕のお話などを行いました。また、子どもたちと一緒に笹飾りを作りました。実施した学生からは「草津市内では明るい星しか観ることができませんが、少しでも子どもたちに夜空とその先の宇宙の魅力が伝われば嬉しいです」といった感想が聞かれました。草津天文研究会は、今年の学園祭ではプラネタリウム公演を実施する予定です。



会場の様子

囲碁研究会

**第51回全日本女子学生本因坊決定戦で
 塚田花梨さんが2連覇を達成**

(8月10、11日 秋田県能代市旧料亭 金勇)

第59回全日本・第51回全日本女子の学生本因坊決定戦が行われ、囲碁研究部の塚田花梨さん(産社2)が優勝し、2年連続で女子学生囲碁日本一の座に輝きました。また、全日本学生本因坊戦では同部の矢次右京さん(理工4)が4位に入賞しました。学生本因坊決定戦は1957年から続く学生タイトル戦で、北海道から九州まで8地区の予選を勝ち抜いた男子32人、女子24人が出場します。男子はトーナメント方式で争い、女子は6人ずつ4組に分かれてスイス方式で対局し、上位1名が決勝トーナメント

に進出します。立命館大学からは全日本に矢次さんほか7名、全日本女子に塚田さんほか2名が出場しました。



前列左から二番目が塚田さん、後列右から一番目が矢次さん

CAMPUS ACTIVITIES 学生活動

問い合わせ先: 学生オフィス
 075-465-8167

**立命の家2015 ワンダーランド
 ~君の知らないモノがまつている!~
 を開催**

(8月19、20日 びわこ・くさつキャンパス)

学術系団体やプロジェクト団体の学生が組織・運営する実行委員会のもと、近隣にお住まいの小学生を対象に、科学や英語、ものづくりの楽しさを知ってもらうことを目的として、「立命の家 2015ワンダーランド~君の知らないモノがまつている!~」を開催しました。このイベントは今年で15回目を迎え、当日は約120名の小学生たちが参加しました。今年度は、10団体が参加し、「ワンダーランド~君の知らないモノがまつている!~」というテーマで、プラネタリウム鑑賞をはじめ、パソコンでのゲーム制作や身の回りのものを使ったマイク作りといった体験型企画を実施しました。各企画を通じて、参加した小学生と大学生が触れ合い出会うことで、双方にとって楽しみながら成長できる貴重な機会になりました。子どもたちは、普段の小学校での勉強とは一味違った「学び」を体験し、「学ぶことの楽しさ」を実感しているようでした。



会場の様子

大阪いばらきキャンパスに
「稲盛経営哲学研究センター」を開設

6月1日(月)、大阪いばらきキャンパスに「稲盛経営哲学研究センター」を開設しました。本研究センターは、稲盛和夫・京セラ株式会社名誉会長(以下、稲盛名誉会長)の企業経営における実践哲学である「稲盛経営哲学」の「普遍化」および「一般化」のための研究と、その理念の体得に繋がる「教育プログラムの開発」に取り組みます。そして、それらの研究成果を広く世界に発信することにより、人類社会の進歩発展に貢献することを目指します。また、稲盛名誉会長には、本研究センターの名誉研究センター長に就任いただいています。今後研究センターでは、学内研究者に加え国内外からも広く研究者を招聘し、哲学、心理学、経営学など多角的な視点から研究を進めていきます。研究成果は、シンポジウムなどを開催し、発信していきます。教育については、「利他」の理念と「アメーバ経営」の手法に学び、教育を研究・実践していくプラットフォーム「RITA-LABO」を築き、学校・地域・企業間での多様な連携を通じて教育プログラムの開発に取り組みます。



左から倉石寛・副研究センター長、長田豊臣・学校法人立命館理事長、稲盛和夫・名誉会長、青山敦・研究センター長



6月25日(木) 開設記念講演会の様子

2016年4月、大阪いばらきキャンパスに
総合心理学部を設置

文部科学省に申請していた総合心理学部(定員280名/1学年)の設置届出が受理されました。これにより、立命館大学

は60年の伝統を持つ文学部心理学専攻(衣笠キャンパス)を引き継ぎ、2016年4月より「総合心理学部」として大阪いばらきキャンパスに誕生します。研究・学習スペースを含めた床面積は、心理系学部として日本最大規模になる予定です。総合心理学部は、多様化、複雑化が進み、新たな問題・課題が山積する現代社会において、人間を総合的に探求することを目指し、社会で、家庭で、企業で、人生で生きる心理学を学びます。地域コミュニティの中心を目指す大阪いばらきキャンパスで、地域社会とつながる教学展開を行い、総合的人間力を備え、社会で活躍する総合心理学系の人材育成に貢献していきます。



北場育子特別招聘准教授が第8回資生堂
女性研究者サイエンスグラントを受賞

北場育子特別招聘准教授(総合科学技術研究機構 古気候学研究中心)が、第8回資生堂女性研究者サイエンスグラントを受賞し、6月12日(金)に行われた授賞式に出席しました。資生堂女性研究者サイエンスグラントは、指導的立場を目指す意欲があり、日本の科学技術の発展に対する貢献が期待できる女性研究者を支援することを目的に、資生堂が2007年度に設立したもので、自然科学の全分野を対象としています。第8回となる今回は10名が受賞。古気候学の分野からは、北場准教授が初の受賞者となりました。受賞の対象となった研究テーマ「スベンスマルク仮説の地質学的検証: 地磁気弱体化イベントは短期間で寒冷化を起こすのか?」は、宇宙が地球の気候にどんな影響を与えるか、年輪(土の年輪)から解き明かすことを目指しています。立命館大学の特徴的な研究である年輪研究に、「宇宙の中の地球」という壮大な視点を導入し、新たな気候システム観を確立していくための第一歩が踏み出されました。



徐剛・情報理工学部教授が第13回産学官
連携功労者表彰「経済産業大臣賞」を受賞

内閣府が発表した、「第13回(平成27年度)産学官連携功労者表彰〜つなげるイノベーション大賞〜」において、徐剛・情報理工学部教授が「産業ロボット用3次元ビジョンセンサ」の開発で「経済産業大臣賞」を受賞しました。本賞は、大学、公的研究機関、企業等における産学官連携活動において大きな成果を収め、また、先導的な取組を行う等、産学官連携の推進に多大な貢献をした成功事例を表彰するもので、日本の産学官連携のさらなる進展に寄与することが期待されています。今回、徐教授は、研究成果を事業化するために立命館大学発のベンチャーとして自ら設立し、自身が取締役代表執行役を務める株式会社三次元メディアにおいて、本学の卒業生でもある同社執行役研究開発部長の仲道弘氏とともに3次元ロボットビジョンセンサTVSシリーズを新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)等の支援を受けて開発・製品化し、市場の7割を確保するに至った点を評価されての受賞となりました。本賞は徐教授と仲道氏二名での受賞となっています。



ヒト人工多能性幹細胞(iPS細胞)の表面
にある糖鎖構造を認識する新しい細胞傷害性
抗体を作成
〜安全な再生医療の進展への貢献〜

川崎敏祐・総合科学技術研究機構 上席研究員、豊田英尚・薬学部教授らのグループは、ヒト人工多能性幹細胞(iPS細胞)の表面にある糖鎖構造を認識する新しい抗体R-17Fを作成しました。R-17F抗体は、ヒトiPS細胞を抗原として作成され、iPS細胞を認識しますが、胚性がん細胞は認識しないという性質を持っています。加えて、R-17FはヒトiPS細胞およびヒトES細胞に結合し、細胞傷害作用を持つことが示されました。この性質は、iPS細胞の品質管理とともにがん化のリスクとなっているiPS細胞由来の再生組織に残存する未分化iPS細胞の除去に利用可能なため、安全な再生医療の進展に貢献できるものと期待されます。

大阪モノレールとの連携企画
「立命館列車〜R25「大人の酒楽旅幸
(しゅうがくりょこう)」〜」を運行

6月27日(土)、大阪モノレールと立命館大学の連携企画「立命館列車」が運行されました。「立命館列車」は営業開始25周年を迎えた大阪モノレールと立命館大学大阪いばらきキャンパスとの連携企画で、「大人の酒楽旅幸(しゅうがくりょこう)」と銘打ち、善本哲夫・経営学部教授のゼミ生を中心に「地域に愛される」をコンセプトに企画・製作された地ビール「iBR(あいびーる)」やワイン「goounte(グンテ)」が提供されました。列車は、100名を超える参加者を乗せ、万博記念公園駅を出発。冒頭、善本教授から車内放送で本企画の紹介がされるとともにワインで乾杯が行われた。その後、学生からビールとワインの紹介が行われた。学生たちは参加者と談笑しつつも、安全に留意しながら、給仕や空調の要望に対応するなどモノレールの職員と一体となって運営を行いました。列車は無事に万博記念公園駅に到着し、参加者と学生は記念撮影するなど最後まで和やかな雰囲気イベントは終了しました。

※ビール・ワイン作りは、茨木市で進められている「茨木スマートコミュニティ」の中核的な産学連携としてスタートし、商品コンセプトやブドウ畑探しやブドウ栽培、ラベルづくりまで、学生を中心に組み込まれている。地ビールとワインを通じて、地域に笑顔をもたらす、地域や企業と大学がつながることを目的の一つとしている。



車内の様子

びわこ・くさつキャンパス
スポーツ健康commons(仮称) 新築工事
安全祈願祭を実施

6月30日(火)、びわこ・くさつキャンパス(BKC)において、「スポーツ健康commons(仮称) 新築工事 安全祈願祭」を実施しました。スポーツ健康commons(仮称)は、アリーナ・プールなどを主たる用途とし、学生・教職員・父母・校友・地域住民等のスポーツ・健康づくりを通して、交流・連携を図る場所となります。

安全祈願祭には、長田豊臣・学校法人立命館理事長や吉田美喜夫・学校法人立命

館総長をはじめとする学園関係者ならびに設計・監理・施工会社など工事関係者が集い、安全祈願の神事を厳粛に執り行われました。直会の挨拶にて長田理事長は「スポーツ健康commonsの建設は、BKCの環境充実のための中核的事業であり、この施設は昨年制定した『立命館スポーツ宣言』をまさに体現する、高度な教育・研究拠点、そして地域社会との交流拠点であります」と述べました。スポーツ健康commons(仮称)は、2016年7月に竣工、9月に供用開始を予定しています。



安全祈願祭の様子

インド工科大学ハイデラバード校の学生との
産学国際協働PBL(文部科学省「平成26年度
大学の世界展開力強化事業」)を実施

立命館大学は「大学の世界展開力強化事業」(平成26年度採択)におけるプログラムの1つである「インドIIT-H産学国際協働PBL」を5月から開始しています。本プログラムは、「インドIIT-H産学国際協働PBL」は、立命館大学理工系3学部・研究科の学生10名とインド工科大学ハイデラバード校(IIT-H)の学生10名が、インドの社会や企業が抱える課題に対して技術的な側面から解決案を提案するプログラムです。今回のProblem/Project Based Learning(PBL)で取り扱うテーマは、「Transport」「Disaster」「Water」「Energy」「Healthcare」で、各班4名(IIT-H学生2名、本学学生2名)で調査・検討を進めていきます。PBLのワークショップは、2回に分けて実施し、第1回目として、6月11日(木)から6月19日(金)にIIT-Hの学生が来校。期間中、立命館大学の学生とのPBLを中心に、企業訪問、講義受講・研究室訪問、京都フィールドワーク、日本語・日本文化体験などを行いました。第2回目のワークショップは、本学学生10名が9月にIIT-Hを訪問し、現地の企業訪問・フィールドワーク、IIT-Hの先生による講義の受講・研究室訪問、PBL*を行います。

※IIT-H学生とともに、さらに課題を深め、解決策をまとめ、最終プレゼンテーションを行う予定。



インド工科大学ハイデラバード校の学生によるプレゼンテーションも実施された

初の3キャンパス同時開催!
立命館大学オープンキャンパス2015を開催

8月1日(土)、2日(日)の2日間、衣笠キャンパス、びわこ・くさつキャンパス(BKC)、大阪いばらきキャンパス(OIC)にて、立命館大学オープンキャンパス2015を開催しました。4月にOICを開設し、初めて3キャンパス同時開催となった今回のオープンキャンパスには、2日間で総数25,503名(昨年比約8,800人増)もの受験生・保護者らが訪れました。立命館大学の魅力を体感してもらうため、各学部がそれぞれの教育内容や正課・課外を通じた学生の成長をリアルに伝えようと、さまざまな企画を実施。学部紹介や入試説明会、模擬授業をはじめ、OICでは2016年4月に開設する総合心理学の新しい学びを体験することができる企画(ストレスの測定や錯視体験、性格診断(エゴグラム)での心理テストなど)に多くの参加者が集まり、盛況となりました。3キャンパスともに、在学生や職員による個別相談ブースには多くの受験生や保護者が訪れ、入試方法や学生生活、留学などについて真剣に相談や質問をする様子が見られました。



約25,000人もの受験生や保護者が訪れました(衣笠)



オープンキャンパスを支える学生スタッフたち(OIC)

立命館大阪梅田キャンパス 公開講座のご案内

3回シリーズ ①～③ 大阪の地形・建物・物語 —都市建築的視点から大阪を読み解く—

開催日	講師名	講演タイトル	受講料
1 10/14 (水)	新之介 (大阪高低差学会 おせわかかり)	大阪と地形 ～都市に隠れた高低差を楽しむ～ 【受付終了】	1回 1,000円
2 10/21 (水)	高岡 伸一 (建築家/大阪市立大学 特任講師)	大阪とビル ～街のビルの見方・楽しみ方～ 【受付終了】	
3 10/28 (水)	堀口 徹 (立命館大学理工学部 准教授)	大阪と映画 ～建築的な映画の見方～ 【受付終了】	

3回シリーズ ④～⑥ 戦後70年 —日本と世界の過去・現在・未来を考える—

開催日	講師名	講演タイトル	受講料
4 11/4 (水)	田中 聡 (立命館大学文学部 教授)	マンガのなかの戦争表現	1回 1,000円
5 11/11 (水)	山根 和代 (立命館大学国際関係学部 准教授)	平和教育を推進する平和のための博物館の役割	
6 11/18 (水)	安齋 育郎 (安齋科学・平和事務所 所長)	安全保障政策の未来 ～もう一つの平和の組み立て方～	

3回シリーズ ⑦～⑨ スポーツと健康づくり

開催日	講師名	講演タイトル	受講料
7 11/25 (水)	伊坂 忠夫 (立命館大学スポーツ健康科学部 教授)	スポーツ健康科学の最新研究からみた人のからだ・スポーツ・健康その1 ～アスリートの競技力へ貢献の視点から～	1回 1,000円
8 12/2 (水)	藤田 聡 (立命館大学スポーツ健康科学部 教授)	スポーツ健康科学の最新研究からみた人のからだ・スポーツ・健康その2 ～介護予防に向けた運動と栄養摂取の理論と実践～	
9 12/9 (水)	塩澤 成弘 (立命館大学スポーツ健康科学部 准教授)	スポーツ健康科学の最新研究からみた人のからだ・スポーツ・健康その3 ～日常生活のモニタリングと評価～	

3回シリーズ ⑩～⑫ 災害からの学びと減災への学び

開催日	講師名	講演タイトル	受講料
10 1/13 (水)	塩崎 賢明 (立命館大学 政策科学部 教授)	住宅政策からみた災害復興 ～神戸・インドネシア・東北の比較から～	1回 1,000円
11 1/20 (水)	宮井 和夫 (気仙沼観光タクシー 代表取締役)	地域におけるブランドマネジメント ～宮城・気仙沼での挑戦から～	
12 1/27 (水)	山口 洋典 (立命館大学共通教育推進機構 准教授)	当事者と支援者とのコミュニケーションデザイン ～立命館災害復興支援室の展開から～	

会場▶立命館大阪梅田キャンパス (大阪富国生命ビル5階)
時間▶14:00～15:40 (講演90分、質疑応答10分)
定員▶各回130名【先着順】 ※事前申込
定員になり次第締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。
●詳細は立命館大阪梅田キャンパスホームページをご覧ください。
<http://www.ritsumeai.ac.jp/osakaumedacampus/>

お問い合わせ先
立命館大阪梅田キャンパス 公開講座事務局
(開室時間:月～金 9:00～17:30 / 休祝日除く) ※土日閉室
〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル14階
TEL.06-6360-4895 FAX.06-6360-4894
E-mail:osaka-kz@st.ritsumeai.ac.jp

立命館東京キャンパス 公開講座のご案内

立命館メディア塾 ※第1回～第3回は開催済みです。現在、第4回以降開催分を募集中です。

開催日	講師名	科目名	講義名	受講料
第4回 10/10 (土)	川良浩和氏 (作家、プロデューサー)	ドキュメンタリーの流儀①	ドキュメンタリーとは何か	1回 5,000円
第5回 10/17 (土)	野里 洋氏 (元琉球新報論説委員長・元北陸大学客員教授)	ジャーナリストの流儀③	沖縄でなにが起こっているか —日米が注目する現地からの報道—	
第6回 11/7 (土)	宇野常寛氏 (評論家・批評誌「PLANETS」編集長)	メディアプロデューサーの流儀①	未定	
第7回 11/14 (土)		メディアプロデューサーの流儀②	未定	
第8回 11/28 (土)	山本 浩氏 (法政大学スポーツ健康学部教授スポーツジャーナリスト)	スポーツジャーナリストの流儀①	一発勝負の代表選考会・甲子園、松井秀喜の連続敬遠・マイナースポーツをメジャーにする取り組み	
第9回 12/5 (土)	柳澤秀夫氏 (前NHK放送局解説委員長)	ジャーナリストの流儀④	いま取材現場から目指すものは?	
第10回 12/12 (土)	浅野加寿子氏 (放送評論家・プロデューサー) 訓覇 圭氏 (NHKドラマ部チーフ・プロデューサー)	ドラマの流儀②	ドラマの力 ～プロデューサーの役割・魅力と課題～②	

会場▶立命館東京キャンパス
時間▶いずれも10時30分～12時
定員▶各回60名
※定員になり次第、締め切らせていただきます。
申込期間▶各講義の1週間前まで
●詳細は立命館メディア塾ホームページをご覧ください。
<http://www.ritsumeai.ac.jp/mediajuku/>

お問い合わせ先
立命館アカデミックセンター
TEL: 075-813-8247

+R なる人

国際交流を通じて、
小さなコミュニティから
平和をつくる

国際平和交流セミナー
ステューデントコーディネーター
田中志穂 さん (国際関係学部3年生)

日本人学生と外国人学生が、10日間の日程で京都や被爆地である広島・長崎を訪れ、それぞれの立場から戦争や平和について学び語り合う「国際平和交流セミナー (広島・長崎プログラム)」。今年で23回目を迎える同プログラムには、今回、アメリカン大学から23名、立命館アジア太平洋大学から4名、立命館大学から21名の学生が参加した。

田中志穂さんは、プログラムの運営補助や2ヶ国語でのしおりの作成などを担当するステューデントコーディネーターを昨年に引き続き務めている。田中さん自身も、1回生の頃にプログラムに参加。アメリカだけではなく、当時プログラムに参加していた中国、韓国などの学生たちが「日本の侵略を止めてくれた」という原爆投下に肯定的な教育を受けていたということに驚いた。今まで原爆投下に肯定する意見を直接聞いたことがなかったこともあり、ショックを受けた。10日間のプログラムの期間で自分なりに整理しきれない想いがあったことから、翌年以降もステューデントコーディネーターとして、このプログラムに関わり続けている。

プログラムは、はじめの2日間、京都で立命館大学国際平和ミュージアムの見学とともに、君島東彦・国際関係学部教授や山根和代・国際平和ミュージアム副館長、アメリカン大学のピー



広島の平和記念公園で祈りを捧げる学生

ター・カズニック教授、NGO関係者による戦争や平和に関する講義などが行われた。ともに行動し、意見を交わすことでまず参加者間で友人関係を築くことからプログラムは始



ディスカッションを行う学生たち

まっていた。その後、広島や長崎では、平和記念資料館などの見学や平和祈念式典への参加、被爆者の方から体験談を伺う機会が設けられる。特徴的なのは、さまざまな人との対話や体験を通じて、日本だけではなく、中国、韓国、アメリカなど、さまざまな国が戦争で受けた被害について学んでいくことだ。このような体験を経て学生たちは、関わるすべての国を加害者であり、被害者にする戦争の二面性に気づき、一方的に自国の主張を語るのではなく、異なる立場からの主張も受け入れられるようになっていく。田中さんは「被爆者の体験談を直接伺って、たくさんの方が涙を流していました。『正しい戦争なんてない』』ということを参加した全員が実感してくれたのだと思います」と、現地での学生たちの様子を語ってくれた。

このプログラムでは、「国際交流を通じて、小さなコミュニティから平和をつくる」をコンセプトにしている。「友人同士であれば、相手の痛みを感じることもできるし、傷つけたくないとも思います。国という大きなレベルではなく、友人同士という個人のコミュニティを広げていくことで、平和を築くことができると考えています」とプログラムの意義について語ってくれた田中さん。「『国』というフィルターを通すことで、実際に被害を受ける『個人』が見えなくなる」「『個人』が見えなくなることで、誰かを傷つけることへのためらいがなくなっていく」。戦争はこうした感覚の麻痺の連続が引き起こす結果なのかもしれない。

今回のプログラムで国籍や価値観を超えて学生たちが抱んだ感覚が、これからの世界に平和をもたらすきっかけになることを期待したい。

INFORMATION

校友消息 (判明分)

■**旭日双光賞**
鬼頭佑治氏 (67 経営)
協和工業代表取締役社長

就任

武藤雅之氏 (78 法)
矢作建設工業株式会社 代表取締役副社長
6月26日就任

訃報

若林洋夫氏
本学名誉教授
6月7日 逝去 71歳

BOOKS (寄贈図書)

◆**田中富夫氏** (67文) 著
『**こぼれ火**』
北斗書房 * 1944 円

◆**川村匡由氏** (69文) 監修
『**ここが変わった! 改正介護保険サービス・しくみ・利用料がわかる本**』
自由国民社 * 1400 円 + 税

◆**秦 重雄氏** (78文) 著
家長知史氏 (76文) 著
岩井忠熊 立命館大学名誉教授
『**『永遠の0』を検証する ただ感涙するだけでいいのか**』
日本機関紙出版センター * 1600 円 + 税

◆**木村衣有子氏** (98 産社)
『**はじまりのコップ**』
左藤吹きガラス工房奮闘記』
垂紀書房 * 1800 円 + 税

◆**山家悠平氏** (04 院国際)
『**遊郭のストライキ 女性たちの二十世紀・序説**』
共和国 * 3200 円 + 税

◆ **立命館大学技術士会**
『**土木、この素敵な世界**』
立命館大学技術士会出版プロジェクト委員会
AMAZON KINDLEストアにて
250 円でダウンロード可

立命館大学校友会facebookサイトのお知らせ

立命館大学校友会では、ソーシャルネットワーキングサービスfacebookページを開設しています。公式ページでは、校友会の活動やイベント情報のほか、キャンパスや後輩の活躍ニュースなどをお伝えしています。この他、会報には掲載できなかった取材の様子、校友会百周年記念誌の制作過程、季節ごとの京都の風景など、こちらならではの情報も発信しています。ぜひご覧ください。



この夏、経済学部同窓会の役員会議があり、初めて大阪いばらきキャンパスに向かった。京都の人間からすれば大阪は何となく遠いな、というイメージがあるのだが、意外と近く、JR京都駅から新快速、快速に乗り17分、駅から5分歩くとキャンパスに辿りつく。ちょっと迷ってしまったが、施設は開放的で過ごしやすそうな印象だ。廊下にはモダンなイスが並んだオープンスペースが確保されており、テラスから見る緑も豊か。コンビニやスターバックスもある。快適で機能的なオフィスを表彰する「日経ニューオフィス賞」を受賞したというのも納得である。屋上のテラスを開放したガーデンライブラリーは今後訪れたい施設のひとつになった。皆さまも10月の校友大会でゆっくりご覧あれ！(山岡祐子)

編集室から

最近、読書の素晴らしさを再認識しています。今まで知らなかったことやあやふやな知識のまま過ごしていたものが論理的に理解できていく楽しさは最高です。ただ、読書の出来るままだった時間が中々とれないので、時間をつくるのに苦労しています。振り返れば、学生時代あんなに時間があつたのに有効に活用していませんでした。もっと読書していればと本当に反省させられます。今、衣笠キャンパスでは新しい図書館が建設中です。図書館は学生時代、テスト前や卒論の時に利用させてもらいましたが、独特なあの雰囲気が気に入っていたことを思い出します。新しくできる図書館はきっと素晴らしいものになるでしょう。在校生の方々は今のこの貴重な時間を大切に、図書館を最大限に利用して読書を楽しんでもらいたいと思います。(森 力)

今回はOIC (大阪いばらきキャンパス) に関する話題を二つ…。まず、大阪校友会の「リットレ関西」という山歩きサークル。森健一副会長がリーダーです。立命館高校山岳部 (廃部) 出身の私は誘われて即入会しました。4月18日 (土) の例会は高槻摂津峡から竜王山、バスで茨木駅、OICを見学した後、近所の銭湯に入浴、居酒屋で「反省会」と称し打上げ。OICの近代的な建物や隣接の岩倉公園で遊ぶ家族連れの様子が印象的でした。次に5月30日 (土) には学生法律相談部がOICで初めて「法律相談」を行い、OBとして参加しました。同種企画の増加で衣笠の法律相談は減少気味。茨木市は「ライブル」が少なく、衣笠より多くの方が相談に来られました。今後の展開次第でOICの市民サービス向上も期待できます。…と新天地OICを今後私達はお伝えして参ります。(宮西徳明)

立命館の学舎で勉強しているという学生に、出会いました。彼はとても純粋な心意気を持ちながら、立命館というフィールドを存分に生かして、また時には大学を飛び出して活動しています。寝る時間を惜しんで、人生を語り合ったり勉強したり。自分の10年後を楽しみに思いながらひた走る姿には、美しささえ感じました。そんな彼に、何気なく干支を聞かれて「戌年だよ」と答えると、嬉しそうに「同じです!」と言われ、5秒ほど固まってしまいました (笑)。時の流れを感じるとともに、まだまだ気持ちは若いままだと自分に言い聞かせながら、目の前にいる3人の子供をみて、やはり間違いない過ぎていた時の経過を感じるのです。時間は誰にでも平等。だからこそ、一瞬一瞬を大切に生きようと、改めて心に誓った夏が過ぎました。(安井亜希)

BOOKS FOR BOOKS ~ 立命館の本活 ~



2013年4月~2015年7月末までに**2,074名**の方々から**111,969冊**の本をお送りいただきました。誠にありがとうございます。引き続き、校友の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

☞ **どのような仕組みですか?**

☞ **以下の本は取り扱えませんのでご了承ください。**

- ISBNのない本
- 百科事典 ● コンビニコミック ● 個人出版の本
- マンガ雑誌 ● 一般雑誌

※上記の本が混入していても、費用の負担などは生じません。

☞ **手続きの方法は?**

- ① 書籍を段ボール箱に入れる。
- ② 電話 (バリューブックス 0120-826-292) かWEBで集荷を依頼する。

※ お電話の場合は右の「申込書」をキリトリ線に沿って切り取り、必要事項をご記入のうえ段ボール箱に入れてください

※ 5冊以上であれば送料は無料です

詳しくは **WEB** をご覧ください。

お問合せ先 学校法人立命館 総務部 寄付事務局 TEL : 075-813-8110 (平日 9:30 ~ 17:00)

お申込みに際してのご注意

買取額は市場価格等を考慮して(株)バリューブックスにて査定されます。買取額は需要と供給によって決まるため、ご自身が大切にされている本であっても、残念ながら低額となることや値段がつかないこともございます。お申込みいただくに際しては、その点をご理解くださいますようお願い申し上げます。

立命館大学国際平和ミュージアム企画展のご案内

2015年度秋季特別展

戦後を語る70のカタチ

戦後70年にちなみ、戦争犯罪裁判、抑留・引揚、戦後開拓、東京オリンピック、大阪万博開催、今も続く反戦・平和を求める市民運動… 戦後70年間のあゆみを考えます。

※Friday Night Museumのため、金曜日は当特別展のみ19:00まで開館 (入館は18:30まで)

関連企画

- 立命館大学国際言語文化研究所 連続講座「70年目の戦後史再考」
10/2、10/9、10/16、10/23、10/30 (毎金曜日) 17:30 ~ 19:30
場所: 衣笠キャンパス創思館カンファレンスルーム
※10/9は国際平和ミュージアム2F会議室
- 映画上映会『家族』(山田洋次監督 1970年公開・松竹)
11/7 (土) 13:30 ~ 16:00
場所: 衣笠キャンパス充光館地階301教室
解説: 番匠健一 (立命館大学生存学研究中心客員研究員)



パンフレット『みんなの万国博』/1970年(館蔵)

特別展

世界報道写真展 2015 -WORLD PRESS PHOTO 15-

世界報道写真財団が毎年開催するコンテストの入賞作品で構成した写真展。

※Friday Night Museumのため、金曜日は当特別展のみ19:00まで開館 (入館は18:30まで)

関連企画

- ウードコンサートと講演会 ~レバノンから遠く離れて~
演奏: ヤン・ピタール 講演: ワエル・クデ
〈衣笠キャンパス〉10/4 (日) 14:00 ~ 15:30
場所: 国際平和ミュージアム1Fロビー
〈びわこ・くさつキャンパス〉10/6 (火) 12:00 ~ 13:30
場所: エポック立命21ホールロビー

第96回ミニ企画展示

第9回立命館附属校平和教育実践展示
立命館学園の附属校による「平和」への取り組みを紹介します。



マッシモ・セスティエーニ (イタリア) 2014年6月7日、リビア沖

2015年度秋季特別展	戦後を語る70のカタチ 10月20日(火)~12月13日(日)
特別展	世界報道写真展 2015 -WORLD PRESS PHOTO 15- 9月9日(水)~10月4日(日) ※10月6日(火)~10月18日(日)BKJ、10月21日(水)~11月4日(水)APUで開催
第96回ミニ企画展示	第9回立命館附属校平和教育実践展示 1 立命館守山中学校・高等学校 10月11日(日)~10月23日(金) 2 立命館小学校 10月25日(日)~11月6日(金) 3 立命館中学校・高等学校 11月8日(日)~11月19日(木) 4 立命館宇治中学校・高等学校 11月21日(土)~12月4日(金) 5 立命館慶祥中学校・高等学校 12月6日(日)~12月18日(金)

※常設展示 (地階・2階) は、上記展示期間以外でも見学することができます。

開館時間	午前9時30分~午後4時30分 (入館は午後4時まで)
休館日	月曜日、祝日の翌日 9/21 (月)、9/28 (月)、10/12 (月)、11/23 (月) は開館。 9/22 (火)、9/24 (水)、10/13 (火)、11/4 (水)、11/24 (火)、12/24 (木)、12/26 (土) ~1/5 (火) は休館。
観覧料	一般400円(350円) / 中・高生300円(250円) / 小学生200円(150円) () は20名以上の団体料金 / 障害者手帳をお持ちの方 (介護者1名を含む) は無料。 ※関西文化の日 11/14 (土)、15 (日) は無料。 ※特別展「世界報道写真展」期間中は、大人の一般観覧料が500円になります (団体料金適用はありません)。

立命館大学国際平和ミュージアム
常設展 特別展
校友招待券
有効期間
2015年12月25日(金)まで
(申込・券料・入館料)
校友会「リつめい」
No.292